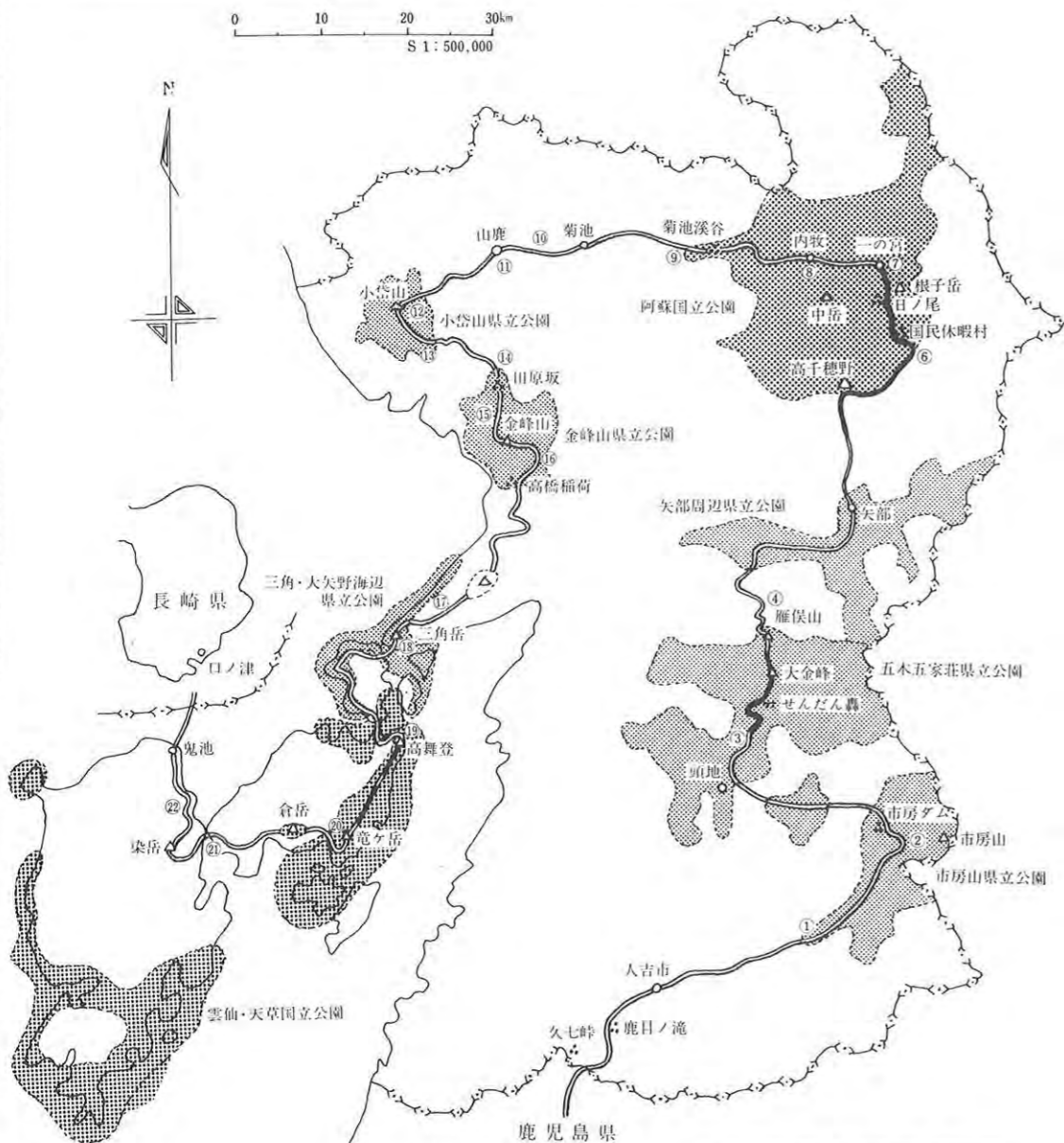


熊本県管内九州自然歩道計画概要図

※モデルコース

1~2	球磨文化財コース	8~9	菊池溪谷探勝コース	15~16	金峰山探勝コース
3~4	五家荘探勝コース(1泊2日)	10~11	山鹿史跡探勝コース	17~18	三角岳探勝コース
5~6	南外輪探勝コース(1泊2日)	12~13	小岱山探勝コース	19~20	観海アルプスコース(1泊2日)
6~7	阿蘇探勝コース	14~15	田原坂史跡コース	21~22	染岳探勝コース



昭和49~50年度完成		昭和51年度完成	
⑤~⑥	8.0km (一部)	③~④	20.0km (一部)
⑱~⑳	2.4km 2.9km (一部)	⑤~⑥	13.0km (一部)
		⑥~⑦	17.0km (一部)
		⑱~⑳	3.0km (一部)



自然探訪のすすめ

九州自然歩道

△九州自然歩道とは

自然は私達のふるさとです。太陽とみどりの国九州は、日本列島のうちでも最初に黒潮に洗われる島であり、恵まれた気象条件のもとで育まれた美しい自然と豊かな歴史とを誇っています。このふるさと九州の自然や歴史や文化財を訪ね歩くことは、何ものにも勝る健全なレクリエーション活動であり、また健康づくりと言えます。

この趣旨のもとに、九州を一周しようとする歩道計画が提唱され、五十年前から一部着工発足をみたのが九州自然歩道です。その特徴は、次のとおりです。

※九州七県の国立・国定・県立の自然公園合わせて三十六カ所を通り、高原、山岳、海岸あるいは文化財等を有機的に結び四季を通じて探勝できるようにしています。

※起点終点をもうけない九州を一周する回遊歩道として、主要観光地、都市部からの分割利用が出来るよう路線計画を行いました。

△九州自然歩道計画概要

- 延長(二千九十一キロ)
- 幅員(一・五メートル)
- 総事業費(三十二億二千四百万円)
- 計画年度(五十一年度から五十二年)

△県内九州自然歩道

計画概要

- 延長(五百二十・二キロ)
- 幅員(一・五メートル)
- 事業費(四億六千七百万円)
- 【コース】(図面参照)

県内コースは雄大な阿蘇、海の天草両国立公園を初めとして、山岳、草原更に名瀑溪流、文化財など景勝地や名所旧跡などが多く、歴史を秘めた名刹などもあります。しかしながら、延長五百二十キロもあり全線を踏破することは困難です。一日コース、又は一泊コースなど十二のモデルコースを設定しています。

△完成している

モデルコース

- 南外輪山コース
- (延長二十キロ・御所(稲尾野)―駒返峠―清水峠―高森峠―村山―国民休暇村)

矢部国民休養地から南外輪山の原生林をとり外輪山上を縦走するもので高森の南阿蘇国民休暇村までの変化に富んだコースです。カシ、シイ、ブナ、ラナ等うっそうたる樹林帯を通りぬけ、南郷谷、阿蘇五岳を左に、右手は広大な外輪原野の対照的な眺めの中を歩くもので、すばらしい雄大な景観が特徴。リンドウ、キスマレ、アソノコギリソウなどの野草の外、野鳥などの自然にめぐまれています。

- 五木・五家荘コース
- (延長二十キロ・椎原―せんだん轟―二本杉)

平家の落人がすみついたと伝えられる五家荘、川辺川の水源地に当たり原生林が多く九州最後の秘境といわれたところです。椎原部落から途中せんだん轟を経て大金峰から山並みを眺め二本杉までの山岳コースです。

深緑、紅葉の静かなたたずまいと七十メートルのごう音をとどろかすせんだん轟瀑布が見ものです。

- 観海アルプス探勝コース
- (延長十・五キロ・松島高舞登―金比羅山―二井当峠)

松島、高舞登から金比羅山、白岳、鹿見岳と上島東海岸観海アルプスの稜線を縦走するもので山を歩きながら天草松島や不知火海など海の眺めを楽しむことが出来ます。一部まだ未開通(五十二年完成)です。